

フタツノシンクヒ (*Simoxylon japonicum* Lesne) に就て

農學士 北 島 鉞 雄

本種は先年本校見本桑園に於て之を發見した事があつたが、僅少の發生に止まり氣に止めずに居た所、本年の四、五月の頃小縣郡浦里村越戸に於て夥しく發生し同村の蠶種家井澤金次郎氏の桑園二反歩餘り殆んど全部之が爲めに侵害を受け被害桑園全部を伐採するの止むを得ざるに至つた、尙ほ聞く所によれば被害は越戸に止まらず隣村青木村にも同じ害虫が發生したと云ふ事である、然らば少し注意して桑園を調べたならば或は上田平全體に多少害を加へて居るものと考へらる、單に桑樹の一新害虫としてでなく將來加害の大なる點に於て餘程注意すべき害虫でないかと思はるゝから、茲に予輩の見た所を記して桑樹を栽培するものゝ參考に資せんとするのである。

▲成蟲の形態(第六圖及び第七圖)

體は圓筒形であつて黒色、頭部及び前胸部は黒色、翅鞘は赤褐色を帶ぶ、觸肢は(第四圖)赤褐色にして十節よりある、穿孔蟲科(*Scolytidae*)の昆蟲に見る如く觸肢は腕狀をなす事があい、また先端部の節が太き球程狀をなす事もあく、本種にあつては末端三節は太く鋸齒狀を呈す、基部の二節は長大、中間の五節は細小あり。

前胸部の前半部には後方に向ふ齒狀突起を生ず、其の中前兩側にあるものは殊に大にして鈎狀をなして上方に曲る、後半には小顆粒あり、尙ほ兩側には灰白色の細毛を生じて居る、翅鞘面には顆粒及び粗大の點刻あり、黃褐色の細毛また前胸の如く生じて居る、尾端は截斷狀をなして終り其の斜面部に各々一個の短大なる角狀突起あり。

脚は栗色にして跗節は五節よりある肥大せず(第五圖) 第一節は著しく小形、大部分は脛節端に隠れ殆んど見えず、第二節及び第五節は最も大あり、此の點も『ヒメコシンクヒ』其の他の穿孔蟲類と大に異なる體長は一分五厘乃至一分八厘

上述した如く、本種は穿孔蟲科の昆蟲に非ずして長蠹蟲科 *Bostrichidae* (*Apidae*) に屬し今日迄桑樹の害蟲として記載されたるを見あから、桑の新害蟲と見る事が出来るだらうと思ふ。

圖一第



圖二第



圖三第



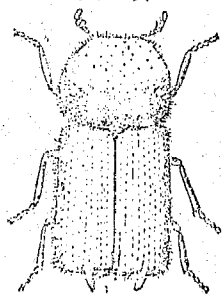
圖四第



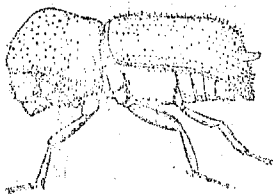
圖五第



圖六第



圖七第



▲加害の状況

桑樹の芽の直下より入り込む圓形または稍や楕圓形の直徑六厘乃至八厘位の孔を穿ち稀には芽の直上部より喰ひ込む決して芽部を離れて齧入する事は無い様である、(第一圖及び第二圖)幹内に穿つ『トンネル』は通例餘り長くない、最長一寸位(第三圖)最初に昆蟲はどよよりか飛來し芽の下部を掘り二十分位か、つて自己の頭部前胸部を没入する丈けの孔を急いで作り上げる、夫からは徐々に孔を穿ちて遂に全體を隠し尙ほ短い『トンネル』を作つて數日間其の中で材部を食する、再び茲を去り他の芽又は他の樹に移り同様の孔を穿つもの、如く従つて一頭の蟲にして數個の芽、樹を害する、此の點は未だ明瞭でない、然し勿論被害の芽は枯死する、蟲體は『ヒメコンクヒ』等に比して遙かに大きいから枝も枯死又は挫折するに至る、加害部は昨年伸長せる枝の先端に近き部である。

予の上田蠶種株式會社技師長唐澤氏と共に同所を視察したのは六月五日であつて時己に遅く害蟲は殆んど之を桑園に見る事を得なかつた、被害桑園は全部伐採されて居たが害少き桑園を探して少數の標本を採集し之に就いて研究したのである、尙ほ予輩の實地に見聞した所を掲ぐれば、

被害桑園は井澤氏住宅に接して其の北側にあり、同所は周圍には近距離を隔てゝ人家あり、西及び北の方は小山續きとなり、其處は松林をなして居る、最も越戸全體が別所街道と上田より松本に通ずる中仙道との間に挾まるゝ山間の部落である、また同地方一帯は柿の産地であり、被害桑園の真中には柿の老木あ

り、畑の周圍にも柿の大木が並んで居る、桑の種類との關係を云へば、發生したのは甘樂桑三國早生及び改良十文字等にして鼠返には被害無し、井澤氏の話に依れば同地は以前は全部鼠返ありしが、一昨年始めて同所に甘樂桑と三國早生を植付けた、所が害蟲は其迄は發生しなかつたが、昨年より『シンクヒ』の發生を見たど、之によりて見ると『フタツノシンクヒ』は大葉物を好むもの、如く桑の種類との間に大なる關係ある事を知るに足る。

札幌の松村博士及び新島博士によれば、本種は柿及び常緑カシの害蟲なりと云ふ、同地には柿は勿論櫨もあり、櫨は井澤氏住宅の西側に十數本垣をなして並んで居る、予の見た所ではカシよりは柿の方が怪しいと思ふ、尙ほ附近の山地より飛來したものともしはれぬ。

長蠶蟲科の昆蟲も穿孔蟲科の昆蟲も習性は能く似て居るから或は『フタツノシンクヒ』も幼蟲は柿の材部に潜伏して居て春期に至り成蟲となり食を求むるため、桑樹に來たり穿孔するに非ざる無きかと思はれる若し柿が根據地にして然も北信地方に甘樂桑其他大葉物が増して來るとすれば、信州の桑園には一大勁敵として將來大いに注意すべきものと考へられる。